

# 令和4年度 出資団体評価シート

## 1 基本情報

団体名	(株)札幌ドーム	所管課	ス) 企画事業課		
基本財産	1,000,000千円	記入者	担当	中田	電話 011-211-3044
設立年月日	平成10年(1998年)10月1日	本市出資額	550,000千円 (出資割合 55.0%)		
設立・出資目的	施設規模や事業内容から市直営や既存の公益法人による運営は難しいものと考え、民間のノウハウを活用しながらも、公の施設として、広く市民に開放され活用されることが望まれることから、札幌市の方針及び施策へ深い理解を持ち、公平性・公益性を担保した管理・運営を行うため。また、当事業によって得た利益を札幌市に還元されるようにするため。	出資年月日	平成10年	設立	
代表者	代表取締役社長(常勤) 山川 広行(市以外)				
主な出資者	① 札幌市 (55.0%) ② 札幌商工会議所 北海道電力 各 (5%) ④ 北洋銀行 北海道銀行 北海道瓦斯 北海道新聞社 サッポロビール プリンスホテル 各 (3%)				
団体所在地	〒062-0045 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地			電話 011-850-1000	

## 2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① 貸館事業(広告・駐車場事業等を含む)(7ページ)	② 商業事業(8ページ)
内外の優れたスポーツ、展示会その他の催物の開催の場を提供すること等により、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化に寄与する。	イベント開催日及び非イベント日における札幌ドームの来場者に対して、飲食物販事業により利便を提供する。
③ 観光事業(9ページ)	④ 市民利用事業(10ページ)
札幌の観光拠点のひとつとして、札幌ドームの年間を通じた幅広い集客を促進するとともに、国内ドーム初の展望台など施設の特性を活かした事業を展開する。	スポーツを愛する市民への利用を促進し、健康の維持向上やスポーツの普及振興を促進する。
(2) 総支出に占める事業支出割合	100.0% (主要事業支出合計 2,908,238千円 ÷ 総支出 2,908,239千円)
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	貸館事業については、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、昨年度を上回る稼働率であり、アマチュアスポーツ大会の開催を目標より受け入れるなど、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化に寄与しているものと判断される。新たな企業価値の確立を目指し、事業活動等を着実に進めていく必要がある。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 実施されている <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	札幌ドームの管理運営業務に習熟し、イベント誘致や自主イベント企画、広告、飲食・物販事業などにより高い収益を確保し、札幌ドームの安定的な管理運営、高品質なサービス提供を図るとともに、その収益の一部による利益還元を積極的に行っている。 今後は、北海道日本ハムファイターズの本拠地移転による影響について注視するとともに、新たな生活様式に対応した事業展開等を検討し、収益の安定化に努める必要がある。

## 3 団体職員・構成員等

令和4年4月1日現在(単位:人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数
役員					
常勤取締役	0	0	1	1	12
常勤監査役	0	0	0	1	
非常勤取締役			7		
非常勤監査役			2		
職員					
常勤管理職	0	0	20	0	67
常勤一般職	0	0	43	3	
非常勤職員			1		

プロパー職員の年齢構成			
10歳代	0	40歳代	18
20歳代	10	50歳代	19
30歳代	16	60歳代	0
平均年齢		42.1 歳	

役員任期	
取締役	2 年
監査役	4 年
代表権のある役員 の就任年月	
取締役	H29.6
監査役	
職員総数の推移(人)	
R02.4.1時点	70
R03.4.1時点	67

#### 4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分		R2年度決算	R3年度決算	(前年比)	
財務状況	経常収入内訳	経常収入 (a+f)	2,296,988	3,324,451 (100.0%) (+1,027,463)	
	損益計算書	営業	売上高 (a)	1,868,773	3,185,791 (+1,317,018)
			営業費用 (b)	2,370,668	2,908,239 (+537,571)
			うち販売費・一般管理費 (c)	483,599	716,701 (21.6%) (+233,102)
			うち人件費 (d)	548,133	582,185 (17.5%) (+34,052)
			営業利益 (e)	▲ 501,895	277,552 (+779,447)
	営業外	営業外収益 (f)	428,215	138,660 (▲ 289,555)	
		当期純利益 (g)	▲ 81,959	224,535 (+306,494)	
	貸借対照表	資産 (h)	4,090,098	4,189,518 (+99,420)	
		流動資産 (i)	3,651,270	3,841,338 (+190,068)	
		固定資産 (j)	438,828	348,180 (▲ 90,648)	
		負債 (k)	1,196,494	1,071,379 (▲ 125,115)	
		流動負債 (l)	1,125,597	994,087 (▲ 131,510)	
		固定負債 (m)	70,897	77,292 (+6,395)	
純資産 (n)		2,893,604	3,118,139 (+224,535)		
資本金 (o)		1,000,000	1,000,000 (0)		
	借入金残高 (p)	0	0 (0)		

#### R3年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a	イベント利用日数及び来場者数の増加や、東京2020オリンピック競技大会（サッカー）の長期利用があったことから、貸館及び商業事業が増収となったほか、チケット・駐車場の各事業も増収となった。一方、広告事業は広告枠の販売減少、観光事業は営業休止などにより減収となった。
e, g	営業利益は2億77百万円（前期比7億79百万円増）、経常利益は3億90百万円（前期比4億67百万円増）、当期純利益は2億24百万円（前期比3億6百万円増）となり、増収増益となった。

※詳細は、別添の貸借対照表、損益計算書を参照。

#### 5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	R2年度決算	R3年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	65,410	64,499	(▲ 911)
市委託料	379,299	79,093	(▲ 300,206)
市業務委託料	8,466	8,956	(+490)
うち随意契約	8,466	8,956	(+490)
市指定管理費	370,833	70,137	(▲ 300,696)
うち非公募	370,833	70,137	(▲ 300,696)
(参考) 再委託額			(0)
うち市業務委託分			(0)
再委託率			(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高			(0)
損失補償等限度額			(0)
損失補償契約等に係る債務残高			(0)
(参考) 市施設利用料金収入	634,960	1,792,678	(+1,157,718)
うち非公募	634,960	1,792,678	(+1,157,718)

## 6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R2年度	R3年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-o)	1,893,604	2,118,139	(+224,535)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷h)	70.7%	74.4%	(+3.7%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(i÷l)	324.4%	386.4%	(+62.0%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(j÷n)	15.2%	11.2%	(▲4.0%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(p÷h)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当たり経常収益	32,814千円	49,619千円	(+16,805千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	29.3%	18.3%	(▲11.1%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当たり管理費	6,909千円	10,697千円	(+3,788千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	25.9%	22.5%	(▲3.4%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	44.2%	53.1%	(+8.9%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	44.2%	53.1%	(+8.9%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 概ね健全 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い				
理由	債務超過や累積欠損の状態になく、借入金はない。自己資本比率は50%以上、流動比率は150%以上、固定比率は100%以下であり、前年よりも望ましい水準を維持している。生産性についても、職員一人当たり管理費は増加しているが、全体として向上している。 一方、自立性についてはいずれも増加しているが、これは東京2020オリンピック競技大会(サッカー開催)によるものであり、この一時的な要因を除けば高い健全性を維持しているものといえる。 ただし、新型コロナウイルスの影響が続いていることから、今後の財務指標について注視していく必要がある。					

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

## 7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、指標(※2)の達成状況の評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

### (1)出資・出捐

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考	
No.	指標名						
出資の継続							
①	市出資金(出資比率)	目標	550,000千円 (出資比率 55.0%)	550,000千円 (出資比率 55.0%)	550,000千円 (出資比率 55.0%)		
		実績	550,000千円 (出資比率 55.0%)	550,000千円 (出資比率 55.0%)			
		評価		達成			
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)							

### (2)人的関与

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
役員就任の継続						
①	役員(非常勤)就任数	目標	1	1	1	
		実績	1	1		
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

### (3) 団体の活用

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
多目的施設である札幌ドームの活用						
①	ラグビー開催数	目標		0	1	1
		実績	0	0		
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
大型自主イベントの継続・新規開催						
①	大型自主イベントの開催数	目標		1	5	5
		実績	1	1		
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

### (4) 更なる経営の安定化

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
新規イベント誘致のための新利用形態の設定と運用						
①	新たな利用形態によるイベント開催日数	目標		-	5	36
		実績	-	-		
		評価				
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

### (5) 団体統制

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
内部統制システム構築に関する基本方針に基づく活動の実施						
①	コンプライアンス委員会及びリスクマネジメント委員会の開催	目標		各1回	各1回	各1回
		実績	各1回	2回、1回		
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

### (6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
札幌ドーム保全事業の実施						
①	札幌ドーム保全事業費	目標		33,300千円	70,000千円	検討
		実績	22,329千円	56,465千円		
		評価		達成		
②	施設設備の改良工事の実施額	目標		220,000千円	150,000千円	検討
		実績	44,364千円	244,567千円		
		評価		達成		
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						



# 事業評価 ( 1 ) 貸館事業 ( 広告・駐車場事業等を含む )

1. 事業概要	事業所管課 : スポーツ局スポーツ部施設課	担当 : 油井	電話 : 011-211-3045
(1) 事業内容	①貸館事業 ( イベント誘致やイベント運営のサポートを含む ) ②自主事業 ・自主イベント ( 6時間リレーマラソン、ふわふわアドベンチャー、モノヴィレッジ、北海道メイカーズ、スポーツバイキングなど ) ・友の会組織 ( メンバーズクラブ ) 事業 ・チケット販売、管理 ・広告事業 ・コインロッカー事業 ・セールスプロモーション事業 ・ゆきひろば関連事業 ③施設設備の維持管理 ④駐車場の管理運営 ⑤周辺環境対応業務 ( 札幌ドームの周辺の迷惑駐車防止の対策など ) ⑥広報・PR活動 ⑦アマチュアスポーツ大会の実施 札幌6大学野球、全道市町村サッカーフェスティバルなど		市補助金 56,838千円  市指定管理費 ( 非公営 ) 70,137千円  市委託料 ( 随意契約 ) 8,142千円
(2) 事業目的	内外の優れたスポーツ、展示会その他の催物の開催の場を提供することに等により、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化に寄与する		
(3) 事業開始	平成13年 ( 2001年 ) 6月		

## 2. 実施結果

(1) 事業収支 ( 単位 : 千円 )	項目	R2年度	R3年度	( 前年比 )	
	収入 ( 経常収益比 )		2,109,673 ( 91.8% )	3,027,615 ( 91.1% )	( +917,942 )
市補助金・交付金・負担金		57,747	56,838	( ▲ 909 )	
市業務委託料		7,696	8,142	( +446 )	
市指定管理費		370,833	70,137	( ▲ 300,696 )	
市施設利用料金収入		562,368	1,621,839	( +1,059,471 )	
自主事業収入 ( 補助金除く )		947,355	986,984	( +39,629 )	
その他収入		163,674	283,675	( +120,001 )	
費用 ( 支出 )		1,941,880	2,344,916	( +403,036 )	
事業費		1,543,781	1,767,429	( +223,648 )	
管理費等		398,099	577,487	( +179,388 )	
収支差		167,793	682,699	( +514,906 )	
収支比率		108.64%	129.11%	( +20.47% )	
(2) 活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
① 自主イベント開催日数		2	6	2	8
② アマチュアスポーツ大会開催日数		7	7	13	7
③					
(3) 成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
① 札幌ドームクローズドアリーナ稼働率		44.9%	69.0%	69.3%	56.4%
② イベント来場者数		476,983	1,325,400	758,612	2,016,000
③					

## 3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない  フランチャイズチームによるプロスポーツ ( 野球・サッカー ) の実施により国内最高峰のスポーツを観戦する機会を市民・道民に対し幅広く提供したほか、アマチュアスポーツ大会の開催を受入れ、利用料金の減額等を実施するなど、市民・道民が札幌ドームを直接利用してスポーツを実施する機会の確保に努めた。 クローズドアリーナの稼働率は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和2年度から大きく回復し、数多くのスポーツイベントを開催することで、事業目的であるスポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化に大変有益な事業展開が図られた。 また、恒例となった「ゆきひろば」及び「クロスカントリースキーコース」を開設するなど、イベント利用が少ない冬期間におけるスポーツの普及振興にも積極的に取り組んだ。 令和3年度において2日間のみ開催となった自主イベントについては、今後の新型コロナの感染拡大状況によるものの、目標日数を達成できることを期待する。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善  新型コロナウイルス感染症の影響で延期となっていた東京2020オリンピック競技大会 ( サッカー競技 ) が開催されたことなどにより、施設利用料金収入が大きく増加したことで、収支比率が前年比プラス20%となった。 今後についても、自主イベントや広告事業の強化、フランチャイズとの連携強化等によって、収益を維持していくことが望まれる。

## 事業評価 ( 2 ) 商業事業

### 1. 事業概要

事業所管課： スポーツ局スポーツ部施設課

担当： 油井

電話： 011-211-3045

(1)事業内容	① 通年営業飲食店舗の管理・運営 ・ 1階商業ゾーンの「スポーツ・スタジアム・サッポロ」 ② イベント開催時営業の飲食売店及び仲売業務の管理・運営 ③ 通年営業物販店舗の管理・運営 ・ 1階商業ゾーンの「グッズ☆ジャム」 ④ イベント開催時営業の物販ワゴン販売の管理・運営 ほか
(2)事業目的	<1> イベント開催日及び非イベント日における飲食物販事業による、ドーム来場者に対する利便の提供 <2> ドーム経営の安定化に資するための収益事業として
(3)事業開始	平成13年(2001年) 6月

### 2. 実施結果

(1) 事業 収支 (単位 千円)	項目	R2年度	R3年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		169,613	284,350	(+114,737)
		( 7.4 % )	( 8.6 % )		
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	169,613	284,350	(+114,737)	
	その他収入	0	0	(0)	
	費用(支出)	337,524	447,850	(+110,326)	
	事業費	268,054	337,173	(+69,119)	
	管理費等	69,470	110,677	(+41,207)	
	収支差	▲ 167,911	▲ 163,500	(+4,411)	
	収支比率	50.25%	63.49%	(+13.24%)	
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	販売促進キャンペーンの実施回数	11	17	20	17
②					
③					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	商業事業売上(千円)	165,683	419,643	277,151	732,441
②					
③					

### 3. 所管局による評価

(1)事業 の実施結果 の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない  目標日数を超える販売促進キャンペーンを実施し、収益向上に努めた。 「飲食事業」では、食の安全を最優先に衛生管理を徹底したうえで、来場者ニーズを反映した商品内容・価格帯の多様化を実施し、来場者サービスの向上に繋げた。また、北海道日本ハムファイターズや北海道コンサドーレ札幌と協力したメニュー開発など、食のエンターテインメント性を高める取組を行った。コロナ禍における来場者サービスにおいて最優先される事項を感染症対策とし、ネットリサーチを活用し、また、外部コンサルタントにおける研修会等を行うなどして、コロナ禍における来場者サービスの向上に努めている。 「物販事業」においても、両フランチャイズチームと連携して札幌ドーム限定のグッズ開発を行い、来場促進に努めた。また、コロナ禍における接客対応の研修を実施するなどサービス向上に努めた。 今後は、飲食物販事業における来場者ニーズのさらなる把握に努め、客単価の向上や非イベント日における来場者増加に向けた取組みの強化を期待する。
(2)収支 状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善  新型コロナウイルスの影響を大きく受けた令和2年度からは回復傾向にある。 商業事業の売上についてはイベント来場者数による部分が大きく、新型コロナウイルスの感染防止のために観客数を制限する影響を強く受けるが、来場者ニーズに応じたサービス提供を強化し、客単価の向上を図ることは可能と考えられることから、効率的な販売体制の構築や提案力の向上が望まれる。

## 事業評価 ( 3 ) 観光事業

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部施設課	担当： 油井	電話： 011-211-3045
(1)事業内容	①ドーム展望台事業の管理・運営 ・展望台運営 ・来場者サービス（季節装飾設置、旅行会社とタイアップした各種割引、企画展の実施など）  ②ドーム見学ツアー事業の管理・運営、カプセルトイの販売		市負担金 1,798千円
(2)事業目的	<1>札幌の観光拠点のひとつとして、年間を通じた幅広い集客の促進 <2>非イベント日における収益事業として、国内ドーム初の展望台など施設の特性を活かした事業展開の実施		
(3)事業開始	平成13年(2001年) 6月		

### 2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位千円)	項目	R2年度	R3年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		3,874 ( 0.2% )	3,853 ( 0.1% )	▲ 21
市補助金・交付金・負担金		1,716	1,798	(+82)	
市業務委託料		0	0	(0)	
市指定管理費		0	0	(0)	
市施設利用料金収入		955	848	▲ 107	
自主事業収入 (補助金除く)		1,203	1,207	(+4)	
その他収入		0	0	(0)	
費用 (支出)		42,469	57,775	(+15,306)	
事業費		33,728	43,497	(+9,769)	
管理費等		8,741	14,278	(+5,537)	
収支差		▲ 38,595	▲ 53,922	▲ 15,327	
収支比率		9.12%	6.67%	▲ 2.45%	
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
① 札幌市や旅行会社等とのタイアップ企画の実施回数		31	32	33	30
② ※上記には市内観光施設との相互連携を含む					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
① 観光来場者数		20,338	10,870	17,598	14,669
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない  事業目的の達成に向け、札幌市や旅行会社等のタイアップ企画、市内観光施設との相互連携策を継続して実施した。 また、季節感を出した装飾設置の継続に加え、展望台を利用した企画展を実施するなど、年間を通じた幅広い集客に努め、事業目的の達成に向けた事業展開を図っている。 非イベント日の施設活用は課題のひとつであるため、展望台を活用した事業展開の検討や、イベントの実施など、観光拠点としてのさらなる魅力アップに向けた取組みが望まれる。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善  新型コロナウイルス感染症による利用制限や東京2020オリンピック競技大会（サッカー競技）に係る長期利用により、展望台・ドームツアーの営業機会が少なかったことで、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和2年度と同等の収入となった。 コロナ禍による変化に対応した事業展開やイベントの実施など、集客・売上の回復に向けた取組みを期待する。

## 事業評価 ( 4 ) 市民利用事業

### 1. 事業概要

事業所管課： スポーツ局スポーツ部施設課

担当： 油井

電話：

(1)事業内容	①クローズドアリーナにおける草野球等の市民への利用開放 ②サッカー練習場の市民への利用開放 ③トレーニング室の利用管理 ④運動教室・ナイトランの実施（自主事業）
(2)事業目的	スポーツを愛する市民への利用を促進し、健康の維持向上やスポーツの普及振興への貢献
(3)事業開始	平成13年(2001年) 6月

### 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R2年度	R3年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		13,827 ( 0.6% )	7,493 ( 0.2% )	▲ 6,334
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	13,012	7,021	▲ 5,991	
	自主事業収入(補助金除く)	815	472	▲ 343	
	その他収入	0	0	(0)	
	費用(支出)	52,263	57,697	+5,434	
	事業費	41,506	43,439	+1,933	
	管理費等	10,757	14,258	+3,501	
	収支差	▲ 38,436	▲ 50,204	▲ 11,768	
	収支比率	26.46%	12.99%	▲ 13.47%	
(2)活動指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	市民利用における自主事業開催日数	45	62	28	31
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R2年度実績	R3年度目標	R3年度実績	R4年度目標
①	草野球等利用の利用者数	1,305	0	732	0
②	サッカー練習場の利用者数	12,606	9,200	6,507	19,280
③	トレーニング室の利用者数	17,276	26,441	10,408	21,700
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出ていない
	<p>プロ野球やプロサッカーで使用する屋内アリーナやサッカーグラウンドを市民利用に供することで、高品質な施設で市民が野球・サッカーを楽しめる場を提供した（東京2020オリンピック競技大会開催に向けたホヴァリングサッカーステージのピッチコンディション維持のための芝張替え用として、天然芝コートは利用不可）。</p> <p>また、前年度に引き続き、3階コンコースをランニングコースとして開放する「ナイトラン」事業の実施のほか、パワープレートやパートナーストレッチなどのサービスを実施するなど、自主事業の展開も含めた利用促進を図った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数が目標値に達していないことから、今後も、市民の健康の維持向上やスポーツの普及振興に繋がるよう、施設を有効活用し、市民利用機会のさらなる創出に向けた取組みが積極的に展開されることを期待する。</p>
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	<p>新型コロナウイルス感染症による利用制限や東京2020オリンピック競技大会（サッカー競技）に係る長期利用により、市民利用の機会が少なかったことで、売上高は7百万円（前年度比6%減）となった。</p> <p>市民利用単独では収支の黒字化を達成することは難しいが、経費削減等の効率的な管理運営に努める一方、広告媒体を活用した効果的な利用促進や新規事業の実施など、新しい生活様式に沿った市民利用の機会増大施策の検討が望まれる。</p>

## 貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>流動資産</b>	<b>3,841,337,801</b>	<b>流動負債</b>	<b>994,087,120</b>
現金及び預金	3,323,306,549	買掛金	29,550,639
売掛金	258,579,616	未払金	637,420,378
商物品	19,593,102	未払費用	60,767,713
貯蔵品	3,418,476	未払法人税等	87,180,100
前払費用	26,401,186	未払消費税等	88,961,700
未収入金	113,063,452	前受金	78,225,520
その他	96,975,420	預り金	11,981,070
		<b>固定負債</b>	<b>77,291,766</b>
<b>固定資産</b>	<b>348,180,171</b>	長期預り保証金	43,000,000
<b>有形固定資産</b> (	<b>208,279,415)</b>	長期預り敷金	3,382,600
建物	190,669,165	役員退職慰労引当金	30,909,166
構築物	54,489		
機械及び装置	2	<b>負債合計</b>	<b>1,071,378,886</b>
工具器具備品	17,555,759	(純資産の部)	
<b>無形固定資産</b> (	<b>32,476,475)</b>	<b>株主資本</b>	<b>3,118,139,086</b>
ソフトウェア	32,188,475	<b>資本金</b> (	<b>1,000,000,000)</b>
電話加入権	288,000	<b>利益剰余金</b> (	<b>2,118,139,086)</b>
<b>投資その他の資産</b> (	<b>107,424,281)</b>	利益準備金	32,000,000
投資有価証券	12,415,350	その他利益剰余金	2,086,139,086
退職積立金	22,080,800	事業開発積立金	600,000,000
繰延税金資産	72,928,131	繰越利益剰余金	1,486,139,086
		<b>純資産合計</b>	<b>3,118,139,086</b>
<b>資産合計</b>	<b>4,189,517,972</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>4,189,517,972</b>

## 損益計算書

(自 令和3年4月1日)  
(至 令和4年3月31日)

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
売上高		
貸館事業	1,931,152,446	
商観光事業	277,151,358	
その他の営業収益	3,852,044	
	973,634,960	3,185,790,808
売上原価		2,191,538,335
売上総利益		994,252,473
販売費及び一般管理費		716,700,691
営業利益		277,551,782
営業外収益		
受取利息	20,000	
受取手数料	19,658,832	
受取賃貸料	25,305,600	
雑収入	93,675,890	138,660,322
営業外費用		
雑損失	25,952,537	25,952,537
経常利益		390,259,567
税引前当期純利益		390,259,567
法人税、住民税及び事業税	74,864,862	
法人税等調整額	90,859,362	165,724,224
当期純利益		224,535,343